



子どもの居場所の資金を考える 地域円卓会議

子どもの居場所を続けるために必要なお金について考える

実施報告書

日 時： 2018 年 12 月 17 日(月) 18:00-21:00
場 所： 沖縄大学アネックス共創館（沖縄県那覇市国場405）
主 催： 公益財団法人みらいファンド沖縄
協 賛： 宗教法人真和苑
後 援： 沖縄大学地域研究所
協 力： NPO 法人まちなか研究所わくわく

報告書作成
NPO 法人まちなか研究所わくわく
公益財団法人みらいファンド沖縄

ACTIVITY REPORT

【報告】子どもの居場所の資金を考える 地域円卓会議



■日 時：2018年12月17日(月) 18:00-21:00
■場 所：沖縄大学アネックス共創館
■着席者数：7名（論点提供者、司会、記録者含む）
■来場者数：40名（地域住民・行政・企業）

■主 催：公益財団法人みらいファンド沖縄
■協 賛：宗教法人真和苑
■後 援：沖縄大学地域研究所
■協 力：NPO 法人まちなか研究所わくわく
■お問合せ：NPO 法人まちなか研究所わくわく

論点提供

糸数 未希 氏（にじのはしファンド 代表）

城間 えり子 氏（那覇市社会福祉協議会 子どもと地域をつなぐ

サポートセンター系 担当コーディネーター）

子どもの居場所を続けるために必要なお金について考える

沖縄県で実施した平成 27 年度「子どもの貧困実態調査」において、29.9%の子どもが貧困状態に置かれていることが明らかとなりました。全国に比べて特に深刻な沖縄の子供の貧困の状態に緊急に対応するため、国・県・市町村が連携し、平成 28 年度から「沖縄子供の貧困緊急対策事業」による子どもの居場所の設置が進んでおり、平成 30 年 6 月時点で 26 市町村 126 箇所を設置されています。これらの居場所の運営には施設代や食費代、人件費等が必要となるが、地域や各居場所によって運営資源に差があるのが現状です。今回の円卓会議では、子どもの居場所を運営するために必要な資金について現状を確認し、各居場所の実情に応じた資金の在り方について、関係者、専門家、地域の方々と一緒に考えていきたいと思っています。

センターメンバー



糸数 未希
にじのはしファンド
代表



城間 えり子
那覇市社会福祉協議会
子どもと地域をつなぐサ
ポートセンター系
担当コーディネーター



島村 聡
沖縄大学
人文学部福祉文化学科
准教授



小阪 亘
公益財団法人
みらいファンド沖縄
代表理事



池田 哲平
琉球新報社
社会部 記者

■参加者によるサブセッション

子どもの居場所を続けるために必要なお金について考える（原文のまま）

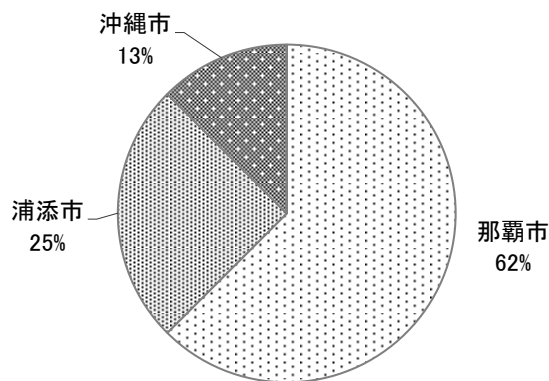
- ① ・まず始めてみる
・資金・ネットワークは進めるなかで
・自治会の活用
- ② ・地域センター松山
・地域の人の理解
・賛助会員を募集
・基金を作る
・仕事先生(希望者)
- ③ 必要
・孫の友達を中心に4人～20人の居場所
└遊び道具の購入
└公的支援金の手続きまで手がまわらない
・子どもの居場所の活動者
└公的支援金の存在を知らないのでは？
・近所の人を引き込むのは？
・保険の加入もどうしよう？
- ④ ・公的施設の有効利用
・公的資金を使いやすく、責任をもって
・子どもの権利・人権の視点から、一時的でなく恒常的な制度・事業
- ⑤ ・居場所を10万円程度でまわせない
・子どもの気持ちは？（子どもの声はだれがきいてるか）→たらいまわしにできるか？
子どもの権利は？
・自治体の責任は？
・お金は大事。リスペクトされたいわけじゃない。
- ⑥ ・企業
・メディア
・放課後子ども教室
（既存のものを活用）
- ⑦ ・継続できるポイント
・保育園はコミュニティ拠点
・お金・楽しい } コミュニティ食堂、開催したい
・お金集めのヒント（仕組み作り）
・サポーターを募り、会費を集め月1回の食事会（物語、ストーリー、出会い）をして全額寄付報告会（書）を開いて、心ある人をお金をまわす
- ⑧ 政治の本来の役割
↓
問題解決 ← 考え・充実
↓
方法論
マネジメント、役割を果たす。専門家
- ⑨ 儲かる仕組みからの支援を考える
- ⑩ ・地域から広く集める
・地域通貨
・現実的なリターン
・信用ポイント、応援ポイント
・コンサル（プロボノ）、自走できる仕組み作り

子どもの居場所の資金を考える 地域円卓会議 参加者アンケート集計

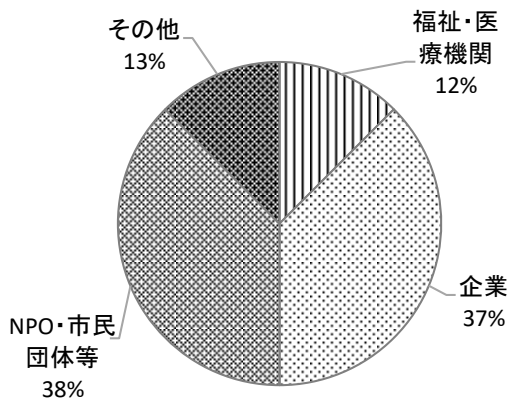
◆概要

- ・日時：2018年12月17日(月) 18:30-21:00
- ・場所：沖縄大学アネックス共創館
- ・着席者：7名（論点提供者、司会、記録者含む）
- ・参加者：41名（アンケート回収8名、回収率20%）

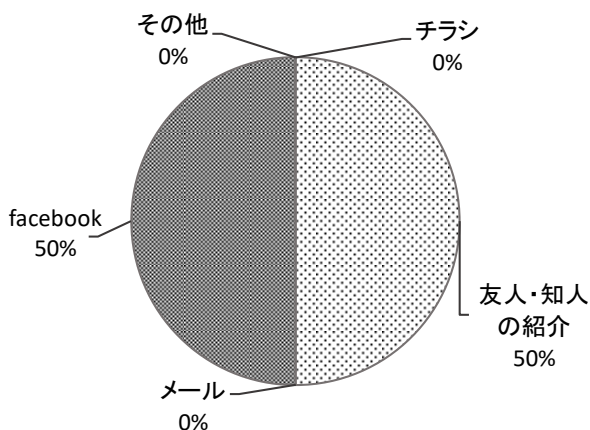
1. どちらから？



2. 所属



3. 円卓会議はどのように知ったか



4. 満足度

平均：3.9（5点中）

5.満足	4.概ね満足	3.普通	2.あまり満足していない	1.不満足
4名	2名	0名	1名	1名

5. 満足度の理由

（5. 満足）

- ・円卓だけでなく、参加者の声がかけて良かった
- ・多様な意見をきけた
- ・行政や支援者の方、議員の方、円卓会議のメンバー等々いろいろな立場の方の意見を聞くことができとても参考になりました
- ・“お金”がテーマでしたが、様々な視点から課題を知ることができました。“行政のしくみ”どう作るのか、これもまた大きな課題

（4. 概ね満足）

- ・行政の委託を受けられる団体を育てるには、、、という課題が見つかった
- ・制度、組織、予算措置等 課題の大きさが判る。私の出来ること考え行動したい

（2. あまり満足していない）

- ・「資金」の問題なのに居場所そのものの話になってしまった点

（1. 不満足）

- ・いくらなんでも子どもの権利の視点がなさすぎて残念

5. 円卓会議で印象に残ったこと

- ・斗星さん おつかれ様でした。私の求める議論の結果ではなかったですが進め方、まとめ方はさすが！でした
- ・行政としての仕組みがそもそもできてない
- ・「お金の流れ」のテーマを深めてもよかった？

- ・ 糸数さんの最後のそれぞれの立場でそれぞれのできる事をやっていくという言葉に共感しました。できることから、やっていきたいと思います。ありがとうございました。
“子どもの声をきく”もちろんだと思いました。その中で、普通の市民がどのようにに関わり、何ができるのか。そのことも非常に大事なことと思います
- ・ 参加していた当事者の子どもより「クソだな、お前ら」とのこと。上間さんが、子どもの声にきちんと耳を傾ける子どもの視点で、子どもが話す相手を決めている。たらい回しにしないでと話したのに、専門家につなぐと言い続けている事点で子どもがないがしろにされている。結局大人の視点でしか考えられていなくて子どもの権利が置き去られていてひどいと思った

(写真) 会場の様子



2018年12月17日(月)
18:30~21:00
沖縄大学アネックス共創館

沖繩大学でネット入井

平良 池田 小阪 島村 糸数 城間

板金 井やじ

- ともとの話の
の再確認 となった
MFOでもギロンを続ける

子どもたちの
国産品の消費を促す

出入り多々い
20~30名
あいてき50名
32名(お米)
庭あにきり

ボランテアの
域では无す
という場面も

時間
お全

中では
なる方々
地域いすて
いてはいい

長く続けるため
お全として
時間かけられる
ようにできな
いかなー

つなげず力
スキルアップ
情熱をもう
上へにつなげる
力

分かって
しまいがち

3K12も必要

2.

毎日
朝10時
月0日
様々

15団体

中間支援「系」

地域支援

情報発信

必要支援

人物企業

食料提供
ランサ会

This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a slightly textured appearance with some faint smudges and discoloration, characteristic of old paper. The right edge of the page is bound into a dark brown leather cover, which is visible as a vertical strip on the right side of the frame.

大学

南僧以度 (職)
対応力 ↑ 上げる
自走する
運動 場所
(車) → 小学校 ETC
H10 → 中学校 ETC
家庭 家筋
木助金
H28 → 使食
H29 → お
調査
11月新
311人
196

2位 学校(小)
3位 SSW
4位 中学校

↑ 一番つながりた
のは行政キャン

↑
専門キャンへ
つなぐこの壁

↑
当初の感覚
と現実のギャップ

↑
2位 27700円
送付 32700円
1位 限界で72000円

↑
20万上限 (家賃...)

↑
いそがしくて..
材のつぎあいで使われない
ものばっか 上手に

↑
常勤 53500円/月
93人
2500人
112人

下冲經

地域発 93%の市民
の財団 拠出金 300万円

資金調達は国の情報

さが 子どもの未来応援プロジェクト

民間で基金を立ち上げる

10/11

佐賀県の
ふるさと納税
の仕組みと活用

行政
法
準公

14,813,764円 (H29)

450名が参加

人件費
調停七
旅七

居場所
への
助成金

返礼品

居場所へ
プレゼント
をする

お肉
野菜
お米
200g

内田府のお金
おも大変。
← こういうしみは
行方不明になる。
11/2

ガバメント
クラウド
ファンディング

キフはお金で
生かされているのか？

ふるさと納税
課題解決バスへ。

内田の
主張
のひき
き
金
の
金
金

地球新聞
池田哲平 さん

地城差、ニズの金が、
ボウテンしたより、よりだ
将来的に、共だおれに
なてしまわないか。
地域ごと、市町村に、
計画が、必要では
資金調達と平行して

SSW

SSWの役割

- 社会福祉の発展
- 福祉サービスの提供
- 福祉政策の推進
- 福祉意識の向上

SSWの業務

- 福祉サービスの提供
- 福祉政策の推進
- 福祉意識の向上
- 福祉サービスの評価

SSWの資格

- 社会福祉士
- 福祉士
- 福祉士補
- 福祉士候補者

SSWのキャリア

- 福祉士
- 福祉士補
- 福祉士候補者
- 福祉士補候補者

SSWの将来

- 福祉サービスの充実
- 福祉政策の推進
- 福祉意識の向上
- 福祉サービスの評価

SSWの現状

- 福祉サービスの不足
- 福祉政策の推進
- 福祉意識の向上
- 福祉サービスの評価

SSWの課題

- 福祉サービスの不足
- 福祉政策の推進
- 福祉意識の向上
- 福祉サービスの評価

SSWの展望

- 福祉サービスの充実
- 福祉政策の推進
- 福祉意識の向上
- 福祉サービスの評価

企業

メディア

放課後子ども教室

(既存のものを活用)

継続できるポイント 保護者は
お金? コミュニティ食堂 周知(は)
楽しい

お金集めのヒント(仕組み作り)

サポーターを募り、会合も集め
月回の食事会をして全額寄付
する。報告会を開いて、じある人と
お金のやり取り

政治の本質、役割

地
方
文
庫
は
必
ず

はるかに ← 地元の
方々
マシソン
役所と民間団体

信者から仕組み
からの
支援を考える

地域から広める

地域通貨

現実的なリターン

信頼ポイント 応援ポイント

コンサル 自主できる仕組み作り
(アロギ)

必要

孫の友達を中心に
4人〜20人の居場所

遊び道具の購入

公的支援金・福祉金

子ども居場所の活動者

公的支援金の存在を
知らせておく

近所の人を呼び込むのは?

保険・加入もいじめる?

子ども

公的施設の

有効利用

公的資金を使い

やすく責任をもち

子どもの権利・人格

の視点から、一時的でなく

恒常的な制度・事業と

居場所を

10石町程度で
まわせない

子どもの声は持ちは?

(子どもの声はどれか
をいえるか) → たらい

子どもの権利、まわし
は、いじめるか

自治体のせきには?

お金は大事。リスパ
ンされたいわけじゃない

まず始めてみる

資金・ネットワークは

進めるなかで

自治会の活用

地域セーフティ・松山

地域の人の理解

賛助会員も募集

基金を作る

仕事先生(希望者)